

会 議 録

- 1 会 議 名 木更津市立公民館運営審議会第3回定例会
- 2 開催日時 平成27年1月16日（金） 午後2時30分～5時
- 3 開催場所 木更津市立中央公民館 1階 大ホール
- 4 出席者氏名 **【公民館運営審議会委員】** 16名
若鍋 知幸 影山 匡子 本多 二三代 村上 淑子
石井 京子 松尾 玲子 青木 健 古藤田 憲之
森田 美保子 金子 邦夫 丸岡 千佳子 佐藤 せつ子
澤邊 賢司 瓜田 栄一 菅原 興二 鶴岡 俊之
- 【公民館長】** 16名
渡邊 雅夫（中央公民館） 伊藤 勉（八幡台公民館）
高橋 栄二（富来田公民館） 泉水 義治（東清公民館）
江野澤 和彦（岩根公民館） 原 敏美（清見台公民館）
石塚 幸一（鎌足公民館） 山口 玲子（畑沢公民館）
小原 俊郎（金田公民館） 山中 裕（岩根西公民館）
小川 惠市（中郷公民館） 本多 豊（西清川公民館）
加藤 芳生（富岡公民館） 根本 弘（波岡公民館）
室前 惠子（文京公民館） 林 正巳（桜井公民館）
- 【事務局職員】** 4名
星野 隆弘（中央公民館副館長）
齋藤 礼司郎（中央公民館主査）
栗本 優（中央公民館主事）
稲村 員代（中央公民館社会教育指導員）
- 5 議 題 議案第1号 平成26年度公民館文化祭（まつり）及び文化祭視察
研修の実施結果について
- 議案第2号 “公民館の魅力再発見”～新しい公民館像を目指して～
の開催について

- 報告事項
- (1) 各種選出委員からの活動経過について
 - ① 木更津市生涯学習推進協議会委員
 - ② 木更津市社会教育委員
 - ③ 木更津市図書館協議会委員
 - ④ 木更津市生涯学習フェスティバル実行委員
 - (2) 木更津市教育功労表彰、木更津市生涯学習功労者表彰の受賞について
 - (3) 研修事業について
 - (4) 周年記念事業について
 - (5) その他

6 公開又は非公開の別 公開

7 傍聴人の数 0人

8 会議概要 以下のとおり

*開会に先立ち、事務局より委員の出席状況について、定数20名に対し過半数16名の出席があり、木更津市立公民館運営審議会運営規則第6条の規定により、会議が成立した旨の報告が行われた。

続いて、青木副委員長が挨拶を行い、山田委員長の代行として金子副委員長が議長を務め審議を行った。

金子邦夫副委員長：議案第1号「平成26年度公民館文化祭（まつり）及び文化祭視察研修の実施結果について」会議資料「平成26年度公民館文化祭（まつり）事業報告書」に基づき、各館長から各地区の実施結果について、3分以内で簡潔に報告してください。中央公民館から5館ずつ順番にお願いします。

【第1回目報告：中央、富来田、岩根、鎌足、金田】

- 渡邊公民館長 : 各公民館の文化祭及び視察の実施結果については、いずれも資料に掲載されておりますので、詳しくはそちらをご覧ください。
視察研修につきましては、10月26日の5館と11月2日の10館の2回に分けて、各地区の文化祭を見学いたしました。限られた時間内での見学でしたが、両日とも天候に恵まれ、各地域の特色や実態を直接ご覧いただき、参考になったのではないかと思います。
今年度の中央公民館まつりは、開館50周年記念事業の一環として取り組み、利用サークルはもちろん、区長さんたちをはじめとする地域の協力のもと盛大に実施することができました。記念講演会には約200名が参加し、昨年度から参加している中学生ボランティアも雰囲気盛り上げてくれました。
- 高橋公民館長 : 駐車場での車による物損事故がありました。幸い大事には至りませんでした。今年度からは、区長会が助成を行い、当日の運営にも全面的に協力をしてくれるようになりました。今まで参加していなかった協力サークルも増え、また、同時開催された商工祭も賑わいました。
- 江野澤公民館長 : 公民館では展示や各種催しを中心に、岩根中学校では敬老会を兼ねた発表や模擬店など、盛大に開催することができました。特に敬老会等を通じて、子どもからお年寄りまで世代を超えた交流が深まったのではないかと感じています。
- 石塚公民館長 : メイン行事である芸能発表は、雨天時の実施（会場）について心配されましたが、当日は幸い天候に恵まれ、予定通り舞台として使用する大型トレーラーを借りて盛大に実施することができました。地区社協主催の敬老会も同時開催され、多世代の交流が深まり、各部門ともにテーマに沿った取り組みができたのではないかと思います。
- 小原公民館長 : 期間中は良い天気に恵まれて、昨年度より約200名多いのべ1100名の参加がありました。新たな試みとして、中学生を巻き込んだことも良かったと思います。課題としては、駐車場の確保が困難なことが挙げられます。
- 金子邦夫副委員長 : それでは、ただいまの5館の報告に対して、ご質問やご意見をうかがいます。いかがでしょうか。

古藤田憲之委員 : 質問ではありませんが、富来田地区は、区長会が新たに関わるようになって、地域とのつながりがよく感じられる文化祭だということがよくわかりました。

金子邦夫副委員長 : 他にないようでしたら、続いての5館からの報告をお願いします。

【第2回目報告 : 中郷、富岡、文京、八幡台、東清】

小川公民館長 : 展示は中郷公民館で行い、ふれあいのつどいは中郷中の新体育館で実施いたしました。ふれあいのつどいでは、小学校のクラブ活動の発表もあり盛り上がりました。また、同時開催されたPTAバザーにも大勢が集まるなど区長会の応援によって、手づくりの文化祭を開催することができました。ただ、中郷地区は65歳以上の世帯の割合が36.6%と非常に高く、サークルの高齢化が危惧される場所でもあります。

加藤公民館長 : 地元小学生の発表や地域のお囃子、消防団による炊き出し体験など地域色豊かな内容で、住民総出で盛り上げることができました。アンケートの結果にも、小規模ながらも地域が一丸となって取り組んでいる富岡に対するお褒めの言葉が記されておりますので、戻りましたら、早速実行委員長に伝えたいと思います。

室前公民館長 : 耐震補強工事のため二小の体育館が使用できず、公民館を発表会場としたため、作品展示期間が一日のみになってしまいましたが、木更津高校ジャグリング愛好会の演技や子ども広場、模擬店など駐車場を活用した各種イベントは大変盛況で、地域に密着した文化祭を開催することができました。

伊藤公民館長 : 今回の文化祭は、八幡台、上烏田、羽鳥野の三つの地区の交流を意識して取り組みました。羽鳥野地区の人口増加も影響してか、今回は、若い親たちの見学も多く見受けられました。課題としては、サークルの高齢化が進んでいること、大人の内容が中心で、子どもを対象とした体験イベントが少ないことが挙げられます。

泉水公民館長 : 駐車場は300台を上回るほどの参加状況でした。初の試みである長い太巻き寿司体験は、練習なしのぶっつけ本番でハプニングもあ

りましたが、普段とは異なり、文化祭期間中は年配者に限らず若い人たちもより多く参加して賑わいました。

金子邦夫副委員長：ただいまの5館の報告に対して、ご質問やご意見はございますか。

丸岡千佳子委員：富岡地区の決算書の歳入に記載されている地域文化スポーツ振興基金とはどういうものか教えてください。

それから文京公民館の模擬店収入が比較的多いのは、どのような理由なのかお聞かせください。

加藤公民館長：地域文化スポーツ振興基金は、地域の文化・スポーツ活動の充実に目的に、各地区から富来田地区区長会を通じて助成していただいている基金です。本日は詳細を用意しておりませんが、その中から7万円を文化祭協力金として予算に入れさせていただいております。

室前公民館長：各団体が行った模擬店の売上から、かかった経費を差し引いた収益の全額を実行委員会で管理しており、御祝儀を加えた総額が諸収入になっております。

澤邊賢司委員：文京の高校生のジャグリング愛好会のパフォーマンスは、とても良かったと思います。後日、写真を学校に届けたのですが、学校側からも機会があれば、地域の行事に積極的に声をかけてほしいと言われていたので、報告させていただきます。

金子邦夫副委員長：他にないようでしたら、残る6館からの報告をお願いします。

【第3回目報告：清見台、畑沢、岩根西、西清川、波岡、桜井】

原公民館長：1日目は雨天で人出が心配されましたがまずまずの参加でした。特に模擬店は過去最高の売上でした。振興住宅地である請西地区の人たちも少しずつ参加するようになっていきます。課題としては、より地域に密着した文化祭をめざしながら、体育館の有効的な活用を図りたいと考えております。

山口公民館長：畑沢公民館開館30周年記念事業の一環として文化祭に取り組みました。30周年にちなんで、サークル連協が、様々な催しや模擬店

などを通じて、いつも以上に盛り上げてくれました。サークル会員の高齢化が進んでいるため、今後、準備や運営に支障が出てくること懸念され、世代交代を真剣に考える必要があると感じています。

山中公民館長 : 初日は、地域住民と久津間保育園児を対象とした移動交番が設けられるなど会場が賑わいました。サークルの高齢化で、例年に比べて展示部門や発表部門の参加サークルが減少しています。また、運営困難との理由から、地域の子ども会の参加も年々難しくなっています。そうした中で、今回は、中学生による和太鼓の発表が大変盛況でした。

本多公民館長 : 永井作盛年会によるもちつきはとても好評で、祇園小学区育成連合会による模擬店をはじめ、屋外の催しは大変盛況でした。三中の中学生ボランティアの参加も西清川の特色のひとつです。役員をはじめ、地元の協力があってこそ文化祭だと実感しています。

根本公民館長 : 今回は、パネルの設営中に怪我人が出る事故が発生しました。幸い大事にはいたりませんでした。サークルや利用者の高齢化は、文化祭の運営にとっても大きな課題になってきていると感じます。また、発表部門では、サークル同士での時間の譲り合いが上手くいかないのも残念に思いました。何のために文化祭を行っているのか、今一度実行委員全体で考える必要があると思います。防災の炊き出し体験は、新しい試みとしてよかったのではないかと思います。

林公民館長 : 文化祭の一環として実施している子どもまつりの作品展や各種イベントも好評でした。地域の人たちに、地元消防団の活動を知ってもらうために設けた消防団体験コーナーもよかったと思います。期間が長いと、地域（桜井地区）の方々の負担が大きいと感じており、負担の軽減策を考えていく必要があると考えております。

金子邦夫副委員長 : ただいまの6館の報告に対して、ご質問やご意見はございますか。

佐藤せつ子委員 : 私は2回目の視察に参加しましたが、午後からは急に風が強くなり、事故がなくて安心しました。全体的に高齢化が進んでいるのか、例年に比べ作品数が少なくなっているような感じを受けました。

菅原興二委員 : 若い人たちの取り込み（参加）がこれからの大きな課題だと思います。

鶴岡俊之委員 : はじめて全公民館の文化祭を見学しました。特に、金田地区や富岡地区など小規模ながらも地域色の濃い一体感のある内容に感動しました。地元消防団のPRを兼ねた取り組みも、大変参考になりました。やはり、青年層が多く参加していくことが課題だと思います。

金子邦夫副委員長 : 他に全体を通して何かご意見はございますか。

村上淑子委員 : 文化祭のように、地域全体で取り組み、不特定多数が参加する行事を運営していくことは、大変だと思います。昨年度は台風のため、3館が実施できませんでしたが、今回は全館で実施することができてよかったと思います。

文化祭の視察は、昨年度もそうだったのですが、1回目が5館、2回目が10館でしたが、視察する公民館については、どのように決められるのですか。

それから、中央公民館の文化祭は、視察の日程と異なるため、アンケートの対象外のようなのですが、委員の中にはご覧になられた方もいらっしゃるようですので、中央も含めてアンケートを取られたほうがよいのではないのでしょうか。中央公民館の文化祭もとてもよかったと思いますので。

最後に、資料に掲載されている各公民館の文化祭事業報告書と決算報告書についてですが、両方が左右のページで見開きになっていると、より見やすいのではないかと思います。

渡邊公民館長 : 文化祭の日程は、現在のところ、10月の最後の週末に実施する地区と文化の日を絡めた11月の最初の週末に実施する地区と、大きく二通りの期間に分かれており、より多くの文化祭を視察したいという委員の皆さんのご要望により、視察も2回に分けて行っております。開催期間については、あくまでも主催する各地区の文化祭実行委員会の意思で決定されますことから、結果的に昨年度と同様、前半が5館、後半が10館となったわけでございます。

事務局 : アンケートについては、2回の視察に参加された委員の方を対象に、各地区の文化祭について、率直な感想を記憶の新しいうちに記入し

ていただくため、視察終了直後にご提出いただくようお願いをいたしました。視察とは異なる日程で行われた中央公民館の文化祭には、山田委員長や石井委員に来賓として出席いただいておりますが、正式な視察ではありませんので、今回は、アンケートの対象に含まれておりません。

文化祭事業報告書と決算報告書については、一見して見やすいように改善したいと思います。

金子邦夫副委員長：貴重なご意見をありがとうございました。他にご質問やご意見がないようでしたら、第1号議案についての審議は、これで終了いたします。

金子邦夫副委員長：ここで10分館の休憩を取りたいと思います。

金子邦夫副委員長：それでは再開いたします。

議案第2号「“公民館の魅力再発見”～新しい公民館像を目指して～の開催について」事務局より説明をお願いします。

事務局：この事業は、市公連の「公民館の全体事業に関する委員会」が中心となって取り組んでおりますので、責任者である清見台の原館長から説明をさせていただきます。

原公民館長：平成8年度から17回にわたり実施してきた公民館のつどいをさらに充実させ、市民とともにこれからの公民館づくりを目指していくために、新たな試みとして、「“公民館の魅力再発見”～新しい公民館像を目指して～」を、今年度3月14日（土）に開催いたします。これまで公民館のつどいで積み重ねてきた多くのことを生かしながら、新しい時代にふさわしい公民館活動について、ともに学びながら考え合いたいと思います。内容については、資料掲載のとおりですが、さらなる詳細については、後ほどお知らせいたしますので、ぜひご参加くださるようお願いいたします。

金子邦夫副委員長：ありがとうございました。それでは、ただいまの説明に対して、質問、または意見を求めます。

丸岡千佳子委員：この事業の対象はどのような人なのかお聞きしたいと思います。それ

から参加者の募集は、チラシなどだけでは集まらないのではないかと思いますのですが、どのようなPRを考えているのですか。

原公民館長 : 対象者は、市内在住在勤の方であれば、誰でも参加が可能です。
また、募集についてはご指摘のとおりで、チラシ以外に様々なメディアを活用して宣伝したいと考えています。また、地域づくりを視野に入れた内容に関連して、口コミで地域の関係者や育児サークル、子育て支援機関（ゆりかもめ）などに働きかけたり、若者の参加を促すために、高専、清和大学、県立高校の学生やユースボランティアなどに積極的に声を掛けていきたいと思えます。

金子邦夫副委員長 : 他にご質問・ご意見等はございますか。

古藤田憲之委員 : 資料で配られている新たな基本計画とこの事業には、何か関連があるのですか。

渡邊館長 : 資料については、後ほど説明いたしますが、この事業と直接の関係はございません。

金子邦夫副委員長 : 他にないようでしたら、第2号議案についての審議は、これで終了いたします。

引き続き報告事項に移ります。はじめに、各選出委員より活動経過報告をお願いいたします。

木更津市生涯学習推進協議会について、松尾委員お願いします。

松尾玲子委員 : 7月に開催されて以降会議はなく、報告事項は特にありません。

金子邦夫副委員長 : 木更津市社会教育委員会議については、本日、この時間帯に市役所で開催されており、青木副委員長がそちらへ出席のため、先ほど退席されました。10月7日に定例会が開催されておりますが、その様子については、後ほどご本人から改めて伺うことにいたします。
次に、図書館協議会について、佐藤委員お願いします。

佐藤せつ子委員 : 前回以降会議が開かれておらず、報告事項は特にありません。

金子邦夫副委員長 : 生涯学習フェスティバルの報告について、森田委員お願いします。

森田美保子委員 : 11月24日に実施されました生涯学習フェスティバルの反省会が12月22日に行われました。今年度は、10月から11月にかけて、アクアラインマラソン、文化祭、子どもまつり、市民会館フェスティバル、福祉まつりと毎週のように大きなイベントが続いたために、参加者がやや少なめだったようでした。次年度の日程については、もう少し早い時期に開催できないかという委員多数からの要望により、10月18日の日曜日を予定日とすることになりました。

なお、来年度は、市民会館の大ホールが休館となるため、中ホールの他に市民体育館、福祉会館など会場を数か所に分散しての開催となることが予想されます。なお、福祉会館は、国勢調査が入っている関係で全館を使用できないことから、内容の縮小等も検討する必要がありますと思われる。

金子邦夫副委員長 : ありがとうございます。ただいまの各委員からの報告に対して、ご質問などはございますか。

ないようでしたら、次に、このたびの教育功労表彰、生涯学習功労者表彰の受賞について、事務局より報告をお願いします。

事務局 : 昨年11月10日に、山田治子委員長が木更津市教育功労表彰を、また、11月24日に実施された生涯学習フェスティバルにおいて、松尾玲子委員と佐藤せつ子委員が木更津市生涯学習功労者表彰をそれぞれ受賞されましたので、ご報告させていただきます。

金子邦夫副委員長 : 次に、研修事業について、事務局より説明をお願いします。

事務局 : 来る1月23日に君津市生涯学習交流センターにおいて、君公運審連主催によります全体研修会が、また、2月10日に木更津の中央公民館において、君公運審連と君公連との合同主催による全体研修会がそれぞれ開催されます。前者は、講師に千葉大教育学部教授の長澤成次氏を講師に迎えて、グループ討議による4市の情報交換と講義が、後者は、同じく千葉大学等非常勤講師の越村康英氏による講義が予定されています。詳細は、開催要項のとおりですが、委員の出欠については、期限までに事務局までご連絡をお願いします。

金子邦夫副委員長 : ただいまの事務局からの説明に対して、何かご質問などはございますか。

ないようでしたら、次に、周年記念事業について報告をお願いいたします。

渡邊館長 : 中央公民館開館50周年記念事業は、記念事業の一環として開催いたしました中央公民館まつりに続いて、12月13日の記念式典、及び、祝賀会の開催、並びに、記念誌の発行をもちまして全事業を終了いたしました。2月4日に反省会を実施し、実行委員会を解散いたします。委員の皆様方には、お忙しい中ご参加、ご協力をいただきまして、まことにありがとうございます。あらためてお礼を申し上げます。

山口公民館長 : 中央公民館と同様に、記念事業としての文化祭に引き続き、11月1日に記念式典、祝賀会を開催いたしました。会場の関係で、委員長のみのご案内とさせていただきます。なお、3月に記念誌の発行を予定しておりますので、出来上がりましたら、委員の皆様にも配布させていただきます。ありがとうございました。

金子邦夫副委員長 : 両公民館とも、お疲れさまでした。
その他に、事務局から何かございますでしょうか。

渡邊公民館長 : 配布してある4種類の資料をご覧ください。
1枚目は、平成27年度から平成30年度までを期間とする木更津市第1次基本計画（素案）の中の社会教育に関する基本政策の抜粋です。社会教育の充実に関する施策として、公民館活動の充実や公民館の施設整備についての具体的な方針を記載してあります。
2枚目の冊子は、前回も説明させていただきました、木更津市教育振興基本計画（素案）についてです。こちらも平成27年度から平成30年度までを期間としており、先ほどの第1次基本計画との整合性を持たせながら、基本目標の実現に向けた施策の展開として、「まちを支える人づくり」「社会教育の推進」の中で、公民館活動の充実については5項目、生涯学習・社会教育施設の整備については3項目に分けて細かく施策内容を示してあります。これらの計画は、いずれも現在、パブリックコメントの募集を行っておりますので、ぜひ一度目を通していただきたいと思います。パブリックコメントの募集締め切りは、1月20日となっております。
3枚目は、教育委員会による今後の公民館整備の方向性についてで

す。こちらは、昨年3月に策定された市の基本構想の期間をめぐり、短期と中長期に分けて今後の公民館整備計画を策定しようとするものです。中長期整備計画については、多くの公民館が平成50年代に耐用年数を迎えるため、次期基本構想での総合的な整備を目標に、第1次基本計画期間の中で策定していく予定です。

最後の4枚目は、今年の4月1日に施行されます「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正」についてです。これは、大津市で起こったいじめ自殺事件などが背景にあります。教育行政に対する責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化を図ることなどが、改正の主な目的とされています。今回の改正によって、現行の教育委員会制度が変更され、教育委員長と教育長の一本化や首長と教育委員会による総合教育会議の設置、教育に関する大綱の策定などが行なわれるようになります。

金子邦夫副委員長：ただいまの中央公民館長からの説明に対して、何かご質問などはございますか。

特にないようですので、これもちまして本日の全ての議事を終了いたします。慎重な審議をありがとうございました。

事務局：金子副委員長ありがとうございました。

以上をもちまして、平成26年度木更津市立公民館運営審議会第3回定例会を終了いたします。

平成27年1月23日

議事録署名人 木更津市立公民館運営審議会
副委員長 金子 邦 夫